



漏水ってなんだろう？

川崎市上下水道局 工藤 祥子
(令和7年度抄録委員会委員)



1. 漏水ってなんだろう？

水道施設（配水池、水道管路等）や給水管から水が漏れだすことを漏水と言います。漏水の原因は、大きく分けると内的要因（材料材質、設計・施工、管内環境に起因するもの）と外的要因（埋設環境、工事、災害に起因するもの）があります。漏水は、住宅浸水や道路陥没、断水等を引き起こし、私たちの生活に大きく影響します。

そのため、漏水調査や修理、現状の把握といった漏水を防止するための対策がとても重要です。

漏水により発生した被害 ⇒



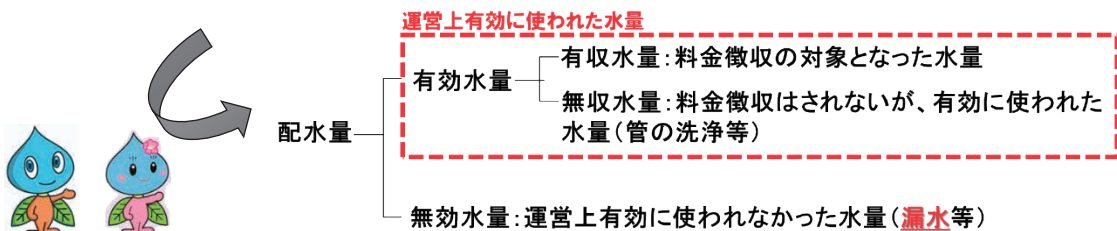
2. 漏水防止対策とは？

* 現状把握 *

対策を立てるうえで、現状を把握することはとても重要です。現状を把握する方法としては、配水量分析^{*}や実際に発生した漏水の分析（管種や漏水箇所、管口径等）があります。現状を把握することで、効率的な漏水調査や効果的な管路更新路線を選定することが可能となり、漏水の防止に繋がります。

※配水量分析

配水された水がどのように使用されたかを分類、分析する手法。



* 漏水調査 *

地上に出てきた漏水は目視できるため、容易に発見・修理することができますが、地上に出てこない漏水（地下漏水）は、見た目にはわからず発見が難しいため、漏水調査が必要となります。漏水調査には、器具を用いて漏水音を人の耳で検知する音聴調査や、管路付属物に機器を設置する調査（相関式漏水検知やログ式相関式漏水検知等）等、様々な手法があります。近年では、人工衛星による漏水検知技術が開発されています。

漏水は自然に収まることはなく、必ず修理が必要となります。そのため、漏水防止対策を講じることは、とても重要です。